



はくろ（白鷺）の散歩Ⅶ

令和7年10月18日
～校長室の窓から～ 令和7年度 No.10
神奈川県立平塚中等教育学校
校長 松本 靖史

【翠星祭文化部門の準備】

今年度の翠星祭文化部門は、令和7年10月18日（土）・19日（日）に開催されました。そこで、10月16日（木）と17日（金）は全日準備となり、後期生を中心に正門ゲートの設営やブロック別の企画などの準備が行われました。とくに屋内催事は、開催前日夜遅くまで、安全に催事が行われるよう準備をしていました。



【前期生学習成果発表会】

翠星祭全日準備1日目の10月16日（木）の午前中を利用して、前期生は学習成果発表会を開催しました。

今回の学習成果発表会は、前半が弁論大会、後半が理科の自由研究の発表です。弁論大会は、1年のテーマが「他の人の目線から」、2年が「身近な社会問題」、3年が「15期生の主張」で、各クラスから選ばれた生徒が弁論を披露しました。選抜された代表だけあって、弁論の内容、口調を含めた表現など素晴らしいものでした。

弁論大会に引き続き、5人の生徒による理科の夏の自由研究発表が行われました。1年生2名はそれぞれ「果物と野菜のミステリー～3つのなぞを解きあかせ！～」、「打ち水でより涼しくなるために」、2年生は「犬の散歩を効率化～早く排便させるための条件とは～」、3年生2名はそれぞれ「三浦市の地層から歴史を調べてみよう」、「相模湾の海底形状による津波の特徴の研究～湘南と西湖地域の津波の違い～」という内容の研究を発表しました。いずれの研究も丁寧な観察や実験を行っており、説得力がある発表でした。

弁論大会も理科の自由研究も、優れた発表を通して、発表者以外の生徒が刺激を受けてくれることを期待します。

【翠星祭文化部門開幕】

令和7年10月18日（土）・19日（日）に、第14回翠星祭文化部門が開催されました。今年度の翠星祭のスローガンは、「めらめら燃える、（風にあたって）揺れる」という意味の英単語「flare」です。燃え上がるような気持ちで翠星祭に臨みたいという思いからこの英単語が選ばれると聞いています。



当日は、まず体育館に全生徒が集まる開催式から始まりました。翠星祭実行委員長のあいさつのあと、恒例のブロック長による動画が上映され、動画に出演していた4人のブロック長が体育館後方から現れるという演出で登場しました。ステージにあがったA～Dの各ブロック長は、それぞれ今回の企画にむけた熱い思いを語りました。



その後、参加団体がそれぞれの魅力を15秒で発信する「15秒PR」、諸注意の後、委員長のカウントダウンで、翠星祭文化部門は幕を開けました。

【食販団体は準備に大忙し】

新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度までは生徒による食販企画を認めていませんでしたが、今年度から復活し、3団体が食品調理販売に取り組みました。さすがに食品を前日準備する訳にはいきませんので、食販を企画した団体は、朝から大忙しさでした。

